

＜今日の説教のポイント マタイによる福音書1章18-25節＞

1 信じ難い処女懐胎の話。もし私たちの理解を超えた出来事なら？

「処女が子を宿すなんてあり得ない」、そう思って今日の箇所から離れるなら、それは次の二つのことを考えても正しいとは言えないと思います。第一に、ではなぜ古今東西多くの人々がこれを信じたのか？ 第二に、もし本当に神様がおられるなら、私たちに理解できないことを神様が起こされることはあり得ると考える方が正しいでしょう。この出来事は私たちの理解を超えた神様の大きな恵みの出来事なのです。だからこそ、何を言おうとしているのかまず耳を傾けることが大事なのです。

2 「聖霊によって」(18, 20)と「ダビデの子ヨセフ」(20)が持つ意味。

この話を正しく深く理解するためにまず知っておかなければならないことが二つあります。一つは、神様はイスラエル人に「救い主をダビデ王の子孫に与えられる」と告げられていたこと(20、サムエル記下7:12-16)、もう一つは、「聖霊によって」(18, 20)とは「神様によって」と同義であるということです。ですからこの話は、神様が約束をイエス様によって成就したのだと語りかけている話なのです。すると、次の問題は、その約束の内容とはどのようなものかです。それがどれほどのものかによって信じるに足るものかどうかが決まるからです。

3 私たちの人生はこの神様と共に歩む人生として与えられたもの！

その約束の内容とは、「**その子をイエスと名付けなさい。この子は自分の民を罪から救うからである**」(21)、「**その名はインマヌエルと呼ばれる。この名は、神は我々と共におられるという意味である**」(23)、です。「罪」の原意は、私たちが神様に背を向けて生きていることです。ですから、「**罪から救う**」とは、まさに、私たちが神様の方に方向転換して神様と共に歩むことを神様が赦して下さった、神様が御子イエスによってその道を用意して下さい、ということをお告げしているのです。こんな話聞いたことないですね。それはそうです、神様が御子イエス・キリストによって初めて起こして下さいました救いの出来事なのですから！ ここで初めて聞く、不思議で当然、不思議でないとおかしい出来事なのです！ このイエス様を聖書で追っていけるのであり、そうする時に全てのことが納得されて行きます。だからこそ、イエス様の誕生はとても大事なのです。